

トーキョーアーツアンドスペースレジデンス 2024 成果発表展

微粒子の呼吸

— 世界の街を舞台に滞在制作を行った、5ヶ国 11名のアーティストたちによる成果発表展

トーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）では、2006年よりレジデンス・プログラム「クリエイター・イン・レジデンス」を開始し、東京や海外の派遣先を舞台に、さまざまな分野で活動するアーティストたちへ活動の機会を提供しています。本展では、2023年度に海外各地の提携機関や東京のTOKASレジデンシーで滞在制作した11名のアーティストが成果を発表します。

展覧会概要

展覧会名：微粒子の呼吸 [トーキョーアーツアンドスペース レジデンス 2024 成果発表展]

出展作家：第1期 | エド・カー、キム・ウジン、ネストール・シレ、前田耕平、松本美枝子、エドウィン・ロウ
第2期 | 大野由美子、谷崎桃子、辻梨絵子、仲本拓史、西毅徳

会期：第1期 | 2024年6月29日（土）～8月4日（日）

第2期 | 2024年8月17日（土）～9月22日（日）

会場：トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

開館時間：11:00 - 19:00（最終入場は30分前まで）

休館日：月曜日（7月15日、9月16日は開館）、7月16日（火）、9月17日（火）

入場料：無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース

協力：アトリエ・モンドリアル（スイス、バーゼル）、エディンバラ・スカルプチャー・ワークショップ（スコットランド、エディンバラ）、HIAP [ヘルシンキ・インターナショナル・アーティスト・プログラム]、フィンランド文化財団（フィンランド、ヘルシンキ）、センター・クラーク、ケベック・アーツカウンシル（カナダ、ケベック州 [モントリオール]）、トレジャーヒル・アーティスト・ヴィレッジ、アーティスト・イン・レジデンス台北（台湾、台北）

ウェブサイト：<https://www.tokyoartsandspace.jp/>

< お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

広報担当：舟橋、市川、武智

TEL：03-5245-1142 FAX：03-5245-1154 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

本展について

私たちは、自然災害や環境破壊といった地球規模の問題から、経済格差、人種や文化、思想等の相違によって生まれる非対称な権力構造による社会的問題、またこのような複雑な状況が個人の生活や精神面に及ぼす影響など、急速な変動の中で日々さまざまな課題に直面しています。この不確実な日常を生きるには、その起因を問い直すとともに、物事を転換させるための主体的な活力や知性、そして既存の枠組みや価値観に捉われない、新たな方法論を編み出す想像力／創造力を共有することが、ひとつの糸口となりうるのではないのでしょうか。

今回紹介する11名のアーティストは、世界の各都市でのレジデンス滞在をとおして、その鋭敏な感覚と多種多様なまなざしで、自身を取り巻く生態系を観察し、そこに潜むさまざまな生命の活動や創造的実践の息吹に耳を澄ませました。彼らの作品は、目の届かない場所で息づく小さなエネルギーの交換を掬い上げ、そこから形成される有機的な営みを手がかりとして、この多層的な世界の未来に向けた、共生の新たな様態を模索します。

本展の第1期では、TOKAS レジデンシーに滞在した4名のアーティストがテーマ・プロジェクトとして「都市を取り巻くエコロジー」を主題に、対話や議論を重ねながら制作活動に取り組んだ成果を発表するほか、海外からの招聘作家2名の作品を展示します。第2期では、日本から海外の提携機関に派遣された作家5名が、それぞれのレジデンスでの滞在制作の成果を発表します。

関連イベント

アーティスト・トーク（予定） ※日程および参加アーティストは変更となる場合があります。

【第1期】 6月30日（日）15:00-16:30

出演：エド・カー、前田耕平、松本美枝子、エドウィン・ロウ ※日英逐次通訳あり

7月6日（土）15:00-16:00

出演：キム・ウジン、ネストール・シレ ※日英逐次通訳あり

【第2期】 8月18日（日）15:00-16:30

出演：大野由美子、谷崎桃子、辻梨絵子

9月7日（土）15:00-16:00

出演：仲本拓史、西 毅徳



4. 《In Searching for the Individuations of Technological Thinking》
映像 2024

エドウィン・ロウ | Edwin LO

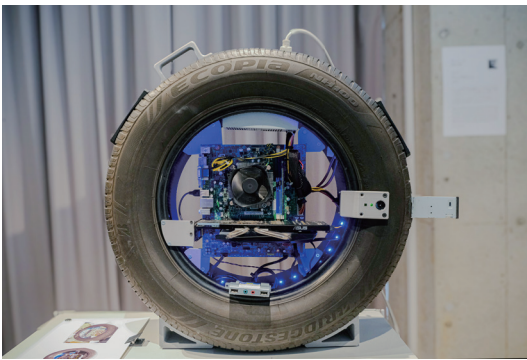
海外クリエイター招聘プログラム

2023年5月～7月滞在

テクノロジー

ロウは、地域固有の「技術」が、生態系を考える上で果たす役割の重要性を考察し、江戸中期～後期に日本・中国・西洋の異文化の交錯によって発展した、日本の軍事面や医学面などにおける技術思想の継承と個別化について探索しました。本展では、思索的で実験的なビデオ・エッセイによって、技術の来歴と、歴史における技術思想の役割の再構築を試みます。

【プロフィール】1984年香港生まれ。香港を拠点に活動。2017年香港城市大学修了（クリエイティブメディア）。主な作品上映に「オーバーハウゼン国際短編映画祭」（ドイツ、2023）など。



5. 《PC Gamer [GOMA] TOKIO》
ハンドメイド・パソコン（カスタムデザイン） 2024

ネストール・シレ | Nestor SIRÉ

海外クリエイター招聘プログラム

2024年1月～3月滞在

革新的な地域実践と創造性の多様な社会的表象を掘り下げる継続的なリサーチ・プロジェクト「CubaCreativa」を行うシレは、日本における社会的創造性や革新的な実践に関するふたつの概念「珍道具」と「裏技」を探究しました。今回、Tokyo Hacker Space と協働制作した、NFTを使用したパソコンの3Dプロトタイプや、ラテンアメリカのゲーム・コミュニティから着想を得て開発したタイヤ型のパソコンのモジュラー版などを展示します。

【プロフィール】1988年カマグエイ（キューバ）生まれ。ハバナを拠点に活動。主な受賞歴に「Rijksakademie van beeldende kunsten」レジデンス・アーティスト（アムステルダム、2024-2025）など。



6. 《Korean Dictation Test_You Will Have to Answer the Questions You Hear》（部分）
4チャンネルFHDビデオインスタレーション、ステレオサウンド
2019

キム・ウジン | KIM Woojin

海外クリエイター招聘プログラム

2024年1月～3月滞在

社会的な枠組みを作り出す装置としての言語に取り組み、消滅しつつある言語に関する個人の記憶を収集するキムは、二度の世界大戦を経て、とりわけ多くの言語が失われたアジアに関心を寄せ、日本における少数言語や日本語政策の変遷について調査を行いました。本展では、日本の危機言語であるアイヌ語とうちなーぐち（沖縄語）に関するインタビューをもとに、演劇の構造を用いた映像作品を発表します。

【プロフィール】1976年韓国生まれ。ソウル、京畿道を拠点に活動。2019年梨花女子大学美術博士課程修了（絵画）、2012年ロンドン大学ゴールド・スミス・カレッジ修了。主な展覧会に「Post Modern Children」（釜山現代美術館、2023）など。

【第2期】



7. 《Nebula》(部分)
陶、金属 2024

大野由美子 | ONO Yumiko

二国間交流事業プログラム<エディンバラ>
2023年4月～6月滞在

陶芸、紙など非建築的な素材を用いて架空の建築物をつくり、近年サイズ可変の作品の可能性を模索する大野は、滞在先のエディンバラでブルータリズム建築を調査し、同一素材を用いて、レイアウトや構造の形状を変化させる実験を行いました。本展では、その発展形として新たにアメリカのブルータリズム建築を参考に制作した構造物を展開し、その構造体を展示室という建築物に接続させることを試みます。

【プロフィール】兵庫県生まれ。兵庫県を拠点に活動。2018年 Санкт-Петербург シュティグリツ国立美術工芸大学院修了。主な展覧会に「BIWAKO ビエンナーレ 2022」(旧近藤呉服屋、彦根、滋賀) など。



8. 《Ice storm》
油彩、キャンバス 2023
Photo: Paul Litherland

谷崎桃子 | TANIZAKI Momoko

二国間交流事業プログラム<ケベック>
2023年4月～6月滞在

近年、不眠や精神的な不調の病理や共存について関心をもつ谷崎は、医療やメンタルヘルス・リテラシーの面で日本との差があるカナダで、精神的な不調を抱える人のコミュニティを訪れ、不調との共存方法について考察しました。本展では、そのような一見ネガティブな事象や非効率的な時間を肯定的に捉えながら、カナダ滞在中に経験した不便な状況や、その時の感情をもとに制作した絵画を中心としたインスタレーションを立ち上げます。

【プロフィール】1991年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。2016年東京造形大学大学院美術研究領域修了。主な展覧会に「INSOMNIA/Waiting for the wave」(tata book shop gallery/THE SECRET MUSEUM、東京、2023) など。



9. 《つながりについての雑談 (ゴッドペアレント、ルームシェア、名付け)》
映像 2023

辻梨絵子 | TSUJI Rieko

二国間交流事業プログラム<バーゼル>
2023年4月～6月滞在

他者とのコミュニケーションや、公と私の境界について、横断的な表現手法を用いて活動している辻は、スイスのキリスト教文化圏に存在する「ゴッドペアレント」制度や、「ルームシェア」や「名付け」を通じた人々のコミュニティの築き方についてリサーチを行いました。本展では、思考・対話の場としてのインスタレーションをおおして、血のつながりのない家族関係や、友人同士の特別な結びつきについて問いかけます。

【プロフィール】1991年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。2019年東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻修了。主な展覧会に「ピカたちの結婚」(soco1010、東京、2022) など。



10. 《唱歌的蝸牛 / Singing Snail》

映像 2023

Photo: Treasure Hill Artist Village

仲本 拓史 | NAKAMOTO Hirofumi

二国間交流事業プログラム<台北>

2023年10月～12月滞在

土地へのリサーチにもとづいて映画・映像の制作を行い、撮影者と世界が相互に影響し合う、カメラを中心としたネットワークを構築してきた仲本は、台湾の動植物の生態や、民話、歴史、またビデオ・アートなど現代美術の動向をリサーチしました。本展では、滞在先のトレジャーヒル・アーティスト・ヴィレッジに生息するカタツムリをとおして、自身が幼少期を過ごしたミャンマーでの思い出と、台湾のカタツムリの歴史を繋ぐ映像作品を発表します。

【プロフィール】1986年神奈川県生まれ。神奈川県を拠点に活動。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。主な展覧会に「Us verse Nature」(トレジャーヒル・アーティスト・ヴィレッジ、台北、2023) など。



11. 《Koive》

吊りバンド (スチール) 2023

西 毅徳 | NISHI Takatoku

二国間交流事業プログラム<ヘルシンキ>

2023年8月～11月滞在

常に移り変わる自然の生み出す光景に惹かれ、そこに秘められた光学現象を、素材と構造によって再構築することで、新たな光の空間を創造する西は、フィンランドで自然光を巧みに取り入れて設計された特徴的な建築と、その自然環境との関係を調査しました。本展では、フィンランドの日常的な風景に存在する白樺に着目し、その葉がみせる多様な表情をインスタレーションによって表現します。

【プロフィール】1989年岐阜県生まれ。東京都を拠点に活動。東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻(建築)博士課程在籍。主な展覧会に「INTERNATIONAL DESIGN / EXHIBITION」受賞記念展 (MOOD MUSEUM OF DESIGN、コモ、イタリア、2023) など。

「微粒子の呼吸」
広報用画像申込書

Email : press@tokyoartsandspace.jp

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください。下記の URL からダウンロードも可能です。)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 ウェブバナー (5月下旬頃納品)

<https://www.tokyoartsandspace.jp/press/form/4>

掲載媒体名 (特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他 ()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送 (月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

E-mail (画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

- ・ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただき目的のみ利用させていただきます。
- ・お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

- ・画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。
- ・画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1～2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。
- ・作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。
- ・提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Webサイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。
- ・情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。
- ・取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコ

< お問い合わせ > ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース (公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 舟橋、市川、武智

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: press@tokyoartsandspace.jp